

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ


お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00~12:00, 13:00~17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。
※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 786-5122	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 6374-5687	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99263801 111 N

HIKOKI

取扱説明書

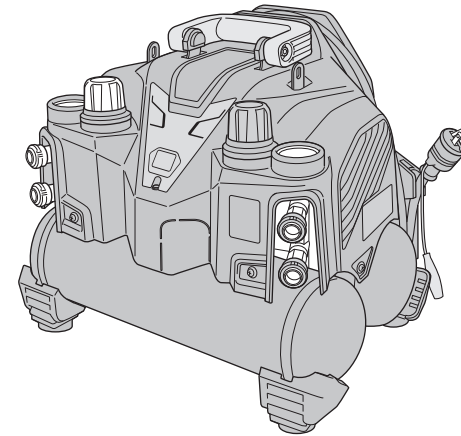
用途

- 一般建築作業における釘打機等エア工具への圧縮空気供給源

高圧エアコンプレッサ

EC 1245H3(CTN) EC 1245H3(CS) EC 1245H3(CN)

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



はじめに

高圧エアコンプレッサを安全に正しくお使いいただくために……………	1
高圧エアコンプレッサの安全上のご注意……………	2
各部の名称とはたらき……………	9
仕様……………	12

使い方

ご使用前の準備・点検……………	13
運転モードについて……………	15
警報機能について……………	16
停電自動復帰機能について……………	17
インバータ制御について……………	17
運転する……………	18
ご使用後について……………	21

その他

運搬について……………	23
保守・点検……………	25
エアタンク (補助タンク) 接続について……………	27
エアコンプレッサとの接続について……………	28
ご修理のときは……………	裏表紙

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

高圧エアコンプレッサを 安全に正しくお使いいただくために

- この取扱説明書は、運転および保守点検を担当される取扱者の手近な所に保管しておいてください。
- この取扱説明書・注意銘板の内容を最後までよく読み、すえ付け・運転・保守点検を実施してください。
- すえ付け・運転・保守点検の前にこの取扱説明書をよく読み、安全の情報や注意事項・操作・取扱い方法などの指示に従い、正しくご使用ください。
- この取扱説明書に記載してある使用範囲を守ってご使用ください。
また、正しい保守点検を行い、故障を未然に防止するようお願いします。
- この取扱説明書に記載していない操作・取扱い、弊社指定の純正部品以外の使用や改造などを行わないでください。機械の故障・人身災害の原因になることがあります。
これらに起因する事故については、弊社は一切の責任を負いません。
- この取扱説明書で理解できない内容・疑問点・不明確な点がございましたら、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 本機は駆動源にインバータモーターを採用しており、高電圧を発生する部分がありますので、分解・改造は行わないでください。
- 運転不能・故障などが発生した場合は、速やかに次のことをお買い求めの販売店にご連絡ください。
 - ・形名、製造番号、ご使用時間など
 - ・異常内容（異常発生前後の状態を含め、できるだけ詳細に）
- 高圧用取り出し口には、一般圧用のホース類、工具類を接続しないでください。（EC 1245H3(CTN)/(CS)のみ）
- 釘打機および空気工具の取扱いについても、ご使用機器の取扱説明書をよく読みお取扱いください。

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

- ⚠警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
- ⚠注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- 注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

高圧エアコンプレッサの安全上のご注意

- けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

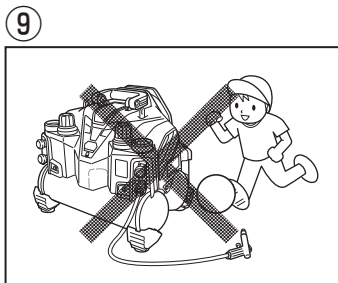
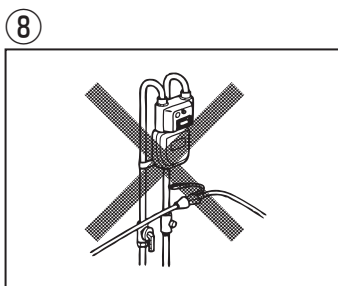
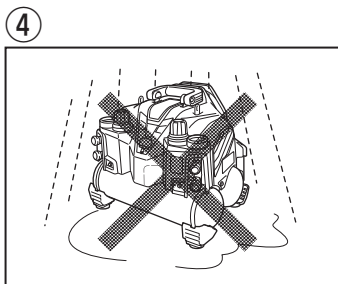
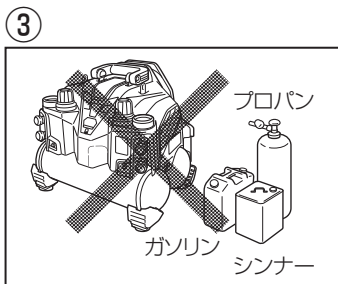
⚠警告

- ① 本機は釘打機などの空気工具用の空気圧縮機として製造していますので、連続運転となる用途には使用しないでください。
- ② 高圧エアコンプレッサで、圧縮・圧送できるガスは、空気（大気圧状態）のみです。空気以外のガスは絶対に使用しないでください。
さび付き、異常摩耗、火災や爆発の原因になります。
- ③ 改造はしないでください。

警告

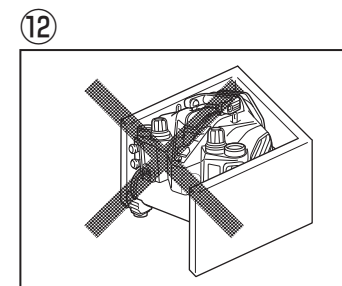
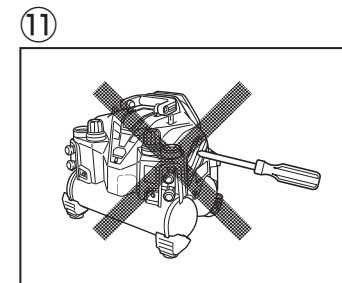
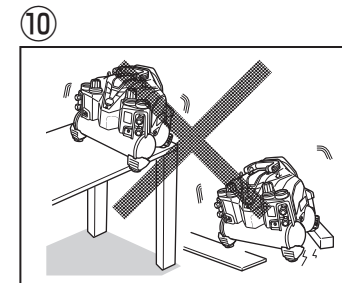
運転準備

- ① 作業場は、いつもきれいに保ち、十分明るくしてください。
- ② 作業環境に対応し、保護メガネ・保護帽・安全靴・防音保護具などを着用してください。
- ③ 近くに爆発性・引火性ガス（アセチレン、プロパンガスなど）・石油類（ガソリン、灯油など）・有機溶剤（シンナーなど）・爆発性粉じんなどや火気のある場所では使用しないでください。
火災や事故の原因になります。
- ④ 雨や蒸気などの水分のかかる場所では、使用しないでください。
漏電、各部のさび付き、寿命低下の原因になります。
- ⑤ 電源プラグの金属部には手を触れないでください。
感電や事故の原因になります。
- ⑥ 濡れた手では触れないでください。
感電や事故の原因になります。
- ⑦ 周囲の温度が圧縮機運転中に5～40℃の範囲で使用してください。
軸受寿命低下、焼き付き、作動不良、破損の原因になります。
- ⑧ アース線はガス管には接続しないでください。
ガスによる火災や爆発事故の原因になります。
- ⑨ お子様や作業関係者以外は近づけないでください。
また、安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
事故の原因になります。



警告

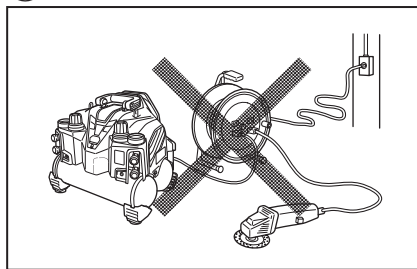
- ⑩ 移動や落下の恐れがあるので、床面がかたい、水平な面に置いて使用してください。
移動や落下の恐れがある不安定な場所では使用しないでください。
事故の原因になります。
- ⑪ 開口部に指および釘、ドライバー、テープなどの異物を入れないでください。
事故や故障の原因になります。
- ⑫ 高温や直射日光の当たる場所や狭い箱などに入れて使用しないでください。
また、吸気・排気口をふさいだ状態で使用しないでください。
寿命低下の原因になります。
- ⑬ ごみ、ほこりの多い場所や、鉄粉、砂じん、粉じん、木くずなどの異物がかかる場所では使用しないでください。
加熱火災事故や異常摩耗の原因になります。
- ⑭ カブラにエアセット、ペアソケットなどの重量物を直接接続しないでください。
故障や事故の原因になります。
- ⑮ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - 本機を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況などに十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。



⚠️ 注意

- ① アンモニア・酸・塩分・オゾンガス・亜硫酸ガスなどの腐食性ガスのある場所では使用しないでください。
圧縮機全体のさび付きや寿命低下の原因になります。
- ② 電源電圧が単相 100 Vであることを確認してください。また、エンジン発電機や直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。
(弊社インバータ制御付エンジン発電機で、定格出力 2.0 kW 以上の物は使用可)
起動不良やモーター故障、および事故の原因になります。
- ③ 本機が接続される電源に、感電防止用漏電しゃ断装置 (15 mA 相当) を設置してください。また、アース (接地) を行ってください。
漏電や感電の原因になります。
- ④ 電源は十分余裕のある 30 A 以上の容量としてください。
起動不良やモーター故障の原因になります。
- ⑤ コードに無理な力を与えないでください。
断線やショート、モーター故障の原因になります。
- ⑥ コードや延長コードは事前に点検し、損傷している場合には修理・交換してください。
- ⑦ なるべく延長コードの接続を避け、直接電源に接続してください。
延長コードを使用する場合は、アース線を備えた 3 心キャブタイヤケーブルで太さ 2 mm²、長さ 30 m 以内としてください。また、延長コードで他の機器との併用は避けてください。
 - 電圧降下による起動不良やモーター故障の原因になります。
 - 短時間の電圧降下があった場合、約 10 秒間運転が一時停止する場合があります。

⑦



⚠️ 警告

運転するとき

- ① 一般圧用カプラには別売の耐熱温度 60℃ 以上、最高使用空気圧力 0.98 MPa 以上、呼び径 6 mm 以上のホースを使用してください。
高圧用カプラには高圧専用ホースを使用してください。
事故の原因になります。
- ② エアホースは優良なエアプラグ、ホース金具で確実に固定されている物を使用してください。
事故の原因になります。
- ③ 空気工具の最高使用圧力を確認し、それ以上の圧力には減圧弁を設定しないでください。
破損や事故の原因になります。
- ④ ドレンおよび吐出空気には、大気中の水分および摩耗粉、さびなどが含まれます。顔に向けてドレンを排出しないでください。周囲に飛散する物がないことを確認し、徐々にドレンコックを開いてください。また、顔を近づけてエアホースを抜かないでください。
失明など、けがの原因になります。
- ⑤ 落としたり、ぶつけたりすると、空気タンクなどに変形や破損を生じ、運転中の圧力により破損片が飛散し、事故の原因になります。
- ⑥ ハンドルに変形や破損およびねじのゆるみがある場合、運搬中に落下して破損および事故の原因になります。
- ⑦ 機体に変形や破損がある場合はそのまま使用せずにお買い求めの販売店に連絡し、修理してください。
- ⑧ コードを引っ張らないでください。
断線やショート、モーター故障の原因になります。
- ⑨ 本機に物を載せたり、座ったりしないでください。
破損や故障の原因になります。
- ⑩ 運転時、運転直後に空気タンク、カバー取付けねじなどの金属部に直接手などで触れないでください。
空気の圧縮熱により高温となる場合があります、やけどの恐れがあります。
- ⑪ 本機を運搬するときは、各部の温度が十分冷めてから行ってください。
また、スイッチを切り、電源プラグを持ってコンセントから抜き、空気タンク内の圧縮空気を全部抜いてから運搬してください。

⚠️ 注意

- ① 電源スイッチを OFF にして、次に ON にするまで、10 秒以上の間隔をとってください。
起動不良の原因になります。
- ② 電源や配線の容量が不足し電圧が下がった場合は、空気を圧縮しないことがあります。適切な電源・配線で使用してください。
- ③ 電圧の低い状態および高い状態で使用されますと、性能低下や故障の原因になり、製品寿命を短くしますので適切な電源で使用してください。
- ④ 停電および雷の場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。
破損や事故の原因になります。

⚠️ 警告

運転終了するとき

作業終了時には、本機（コンプレッサ）の電源スイッチを OFF にしてから、電源プラグを抜いてください。
電源プラグを抜いて運転を停止させると、次に電源プラグを接続させたとき、不意に運転が開始され、思わぬ事故やけがの原因になります。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

⚠️ 警告マークについて



このマークのある操作・手順では、必ず本機（コンプレッサ）の電源スイッチを OFF にしてから、電源プラグを抜いてください。
電源プラグを抜いて停止させると、次に電源プラグを接続させたとき、不意に運転が開始され、思わぬ事故やけがの原因になります。

⚠️ 警告

保守点検のとき

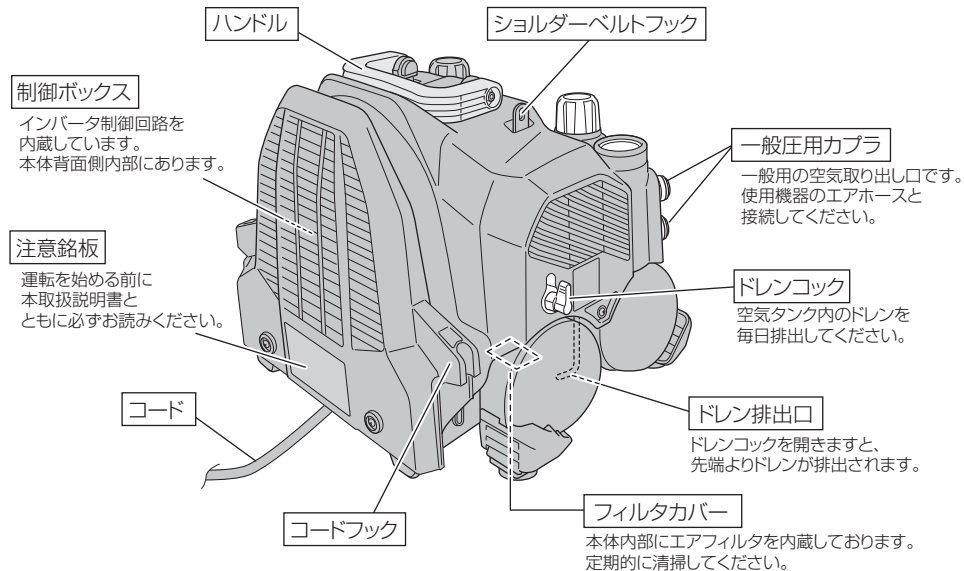
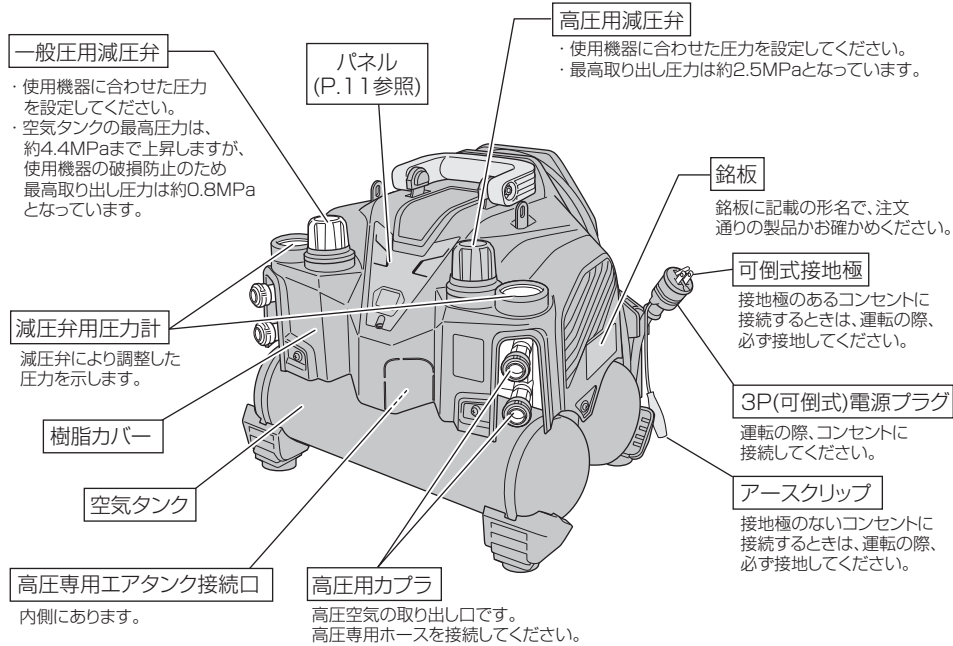
- ① 保守点検作業時は、本機（コンプレッサ）の電源スイッチを OFF にしてから、電源プラグを抜いてください。
電源プラグを抜いて運転を停止させると、次に電源プラグを接続させたとき、不意に運転が開始され、思わぬ事故やけがの原因になります。
- ② 空気タンク内の圧縮空気を完全に抜いてから行ってください。
感電やけがの原因になります。
- ③ ご購入後、実働 1,200 時間を経過したら、お買い求めの販売店へ連絡し点検（オーバーホール）を行ってください。
破損や事故の原因になります。
- ④ 交換部品は、弊社指定の純正部品を使用してください。
破損や事故の原因になります。
- ⑤ 空気タンクに空気漏れがある場合は使用しないでください。
破損や破裂による事故の原因になります。
- ⑥ 故障のときは、使用せずにお買い求めの販売店へ連絡し修理を依頼してください。
- ⑦ 製品の分解・改造および部品の改造はしないでください。
破損や事故の原因になります。

⚠️ 注意

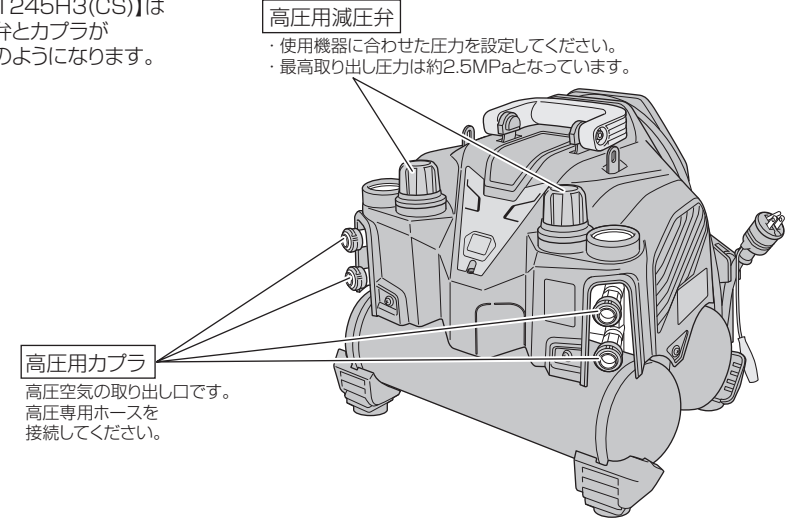
- ① 長期間（1 か月以上）使用しない場合は、保管前にドレンコックを全開にし、5 分以上の運転を行い、さび付きなどを防いでください。
また運転を再開する場合も同様の運転を実施してください。
異常摩耗、破損、事故の原因になります。
- ② 保管など使用しない場合は、水平な床面に 4 本の足（ゴム足）が接して、ガタつきないように設置してください。また、乾燥した、子供の手の届かない場所に保管してください。

各部の名称とはたらき

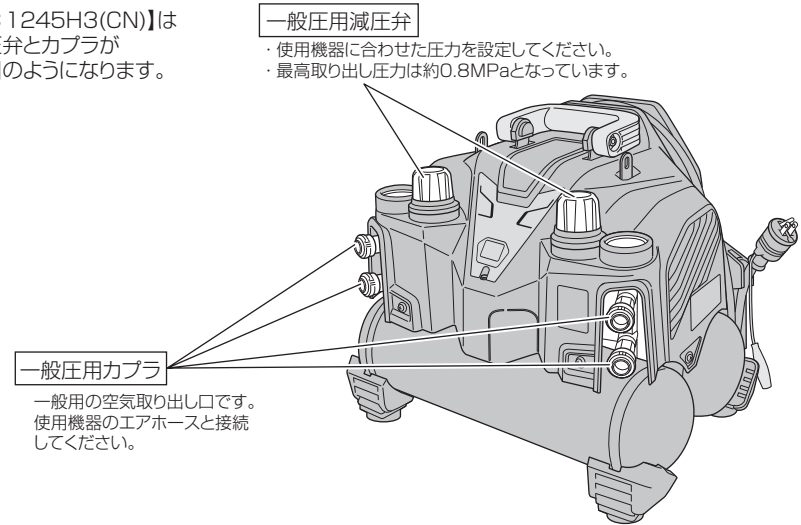
本体 【イラストは EC 1245H3(CTN)です】



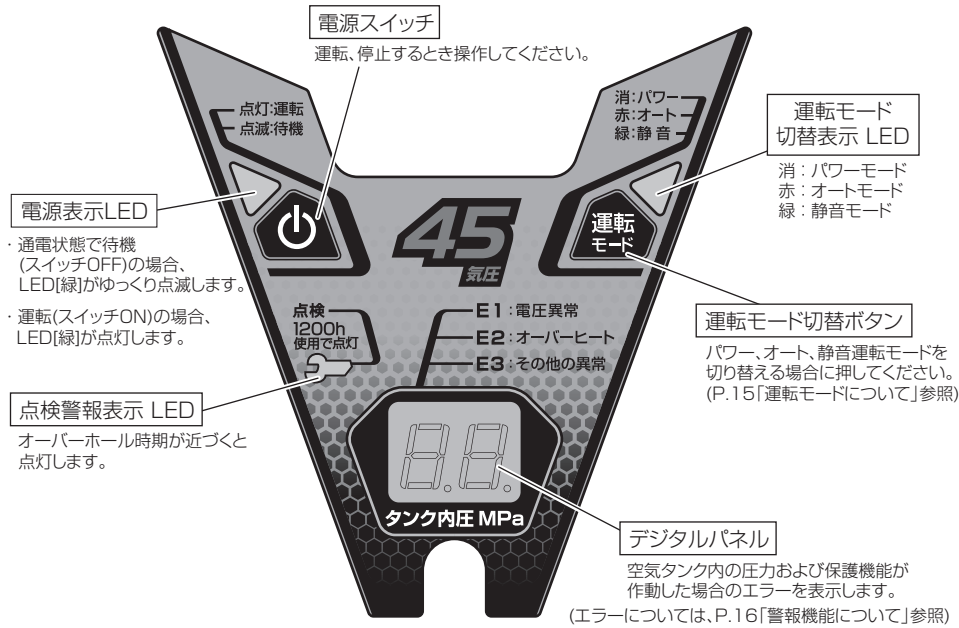
【EC 1245H3(CS)】は減圧弁とカブラが右図のようになります。



【EC 1245H3(CN)】は減圧弁とカブラが右図のようになります。



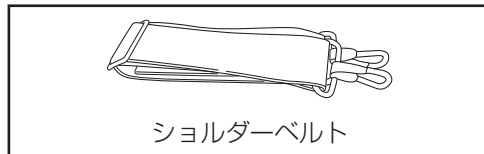
パネル



デジタルパネルの表示 (空気タンク内圧力) について

- ・運転状態 (電源表示LEDが[緑]点灯) のときは、空気タンク内の圧力を表示します。
- ・空気タンク内圧力が最高圧力 (パワー・オートモード: 4.4 MPa 静音モード: 3.0 MPa) でモーター停止後、
パワー・オートモードは 4.4 ~ 4.3 MPa まで 4.4
静音モードは 3.0 ~ 2.9 MPa まで 3.0 と表示します。

付属品



仕様

形名	EC 1245H3(CTN)	EC 1245H3(GS)	EC 1245H3(CN)
使用電源	単相交流 電圧 100 V 周波数 50/60 Hz 共用		
モーター	直流ブラシレスモーター		
電流	14.5 A		
入力	1,450 W		
空気タンク内最高圧力	4.4 MPa		
運転モード	3モード		
取り出し可能圧力	一般圧	0 ~ 約 0.8 MPa	0 ~ 約 0.8 MPa
	高圧	0 ~ 約 2.5 MPa	
シリンダ径 × 行程 × シリンダ数	低圧	62 mm × 26 mm × 1	
	高圧	40 mm × 11 mm × 1	
パワーモード	回転速度	最大 2,500 min ⁻¹	
	吐出し空気量	0.7 MPa	107 L / min
		2.3 MPa	83 L / min
オートモード	回転速度	最大 2,200 min ⁻¹	
	吐出し空気量	0.7 MPa	95 L / min
		2.3 MPa	75 L / min
静音モード	回転速度	最大 1,500 min ⁻¹	
	吐出し空気量	0.7 MPa	60 L / min
		2.3 MPa	50 L / min
空気タンク容量	8 L		
外形寸法 (幅 × 奥行 × 高さ)	430 × 350 × 352 mm		
質量	13.5 kg		
空気取り出し口	一般圧	カブラ × 2 個	カブラ × 4 個
	高圧	高圧カブラ × 2 個	高圧カブラ × 4 個
コード	アースクリップ付 3 心キャブタイヤケーブル 約 2.5 m [3P(可倒式)電源プラグ付]		

ご使用前の準備・点検

●使用環境について

⚠️注意

外気温度が 5℃以下および 40℃を超える場合は、作動不良、寿命低下、故障の原因になります。

運転するときは、水平な床面に 4 本の足(ゴム足)が確実に床面に接して、ガタつきがないように設置してください。使用できる外気温度は、5～40℃です。

●アース(接地)、漏電しゃ断機の設定

使用にさきだち、電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置(15 mA 相当)(以下、漏電しゃ断器と言います)が設置されていることを確認してください。

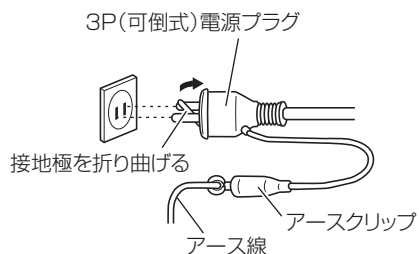
本機は必ずアース(接地)をしてください。接地工事は、電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店に相談してください。

アースクリップ付 3P(可倒式)電源プラグをアース付(3ピン)コンセントに直接さし込むときは、アースクリップによるアースは不要です。

アース極のない 2 極コンセントに接続するときは、右図のように接地極を折り曲げてコンセントにさし込み、アースクリップをアース線に接続してください。

⚠️警告

アース線をガス管に取付けると爆発の恐れがあるので、取付けないでください。



●コードの取扱いについて

コードを機体部からすべて取りはずし、コンセントに接続してください。このとき、コードに無理な力を加えないでください。

また、電源プラグの金属部には手を触れないでください。

●延長コードを使う場合

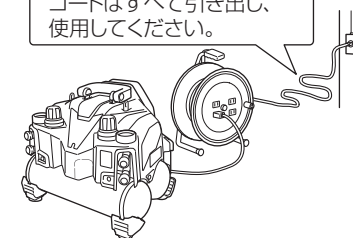
延長コードを使用すると、電圧降下によるトラブルの原因になります。なるべく、延長コードの使用を避け、元電源に直接接続してください。

また、電源からはなれた場所で使用する場合にも延長コードの使用を避け、延長エアホースを使用してください。

延長コード使用時の注意 (許容長さ 30 m)

コードの太さ (mm ²) (導体公称断面積)	使用時の注意	
1.25	×	使用不可
2.0	○	使用可能
3.5	◎	安心して使用可能
元電源	◎	安心して使用可能

延長コード過熱防止のため、コードはすべて引き出し、使用してください。



●使用電源の確認

使用できる電源は単相 100 V のみです。またエンジン発電機や直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください(弊社インバータ制御付エンジン発電機で、定格出力 2.0 kW 以上の物は使用可)。電源は十分余裕のある 30 A 以上の容量としてください。

●コンセントの確認

コンセントがガタつく、または抜けやすいコンセントは修理が必要です。

修理には電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店などに相談してください。修理せずにそのまま使用すると、過熱して事故の原因になります。

●電源スイッチの確認

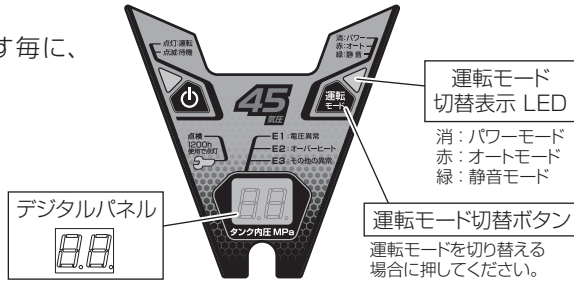
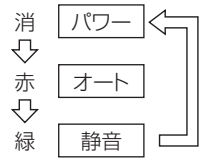
コンセントに接続し、通電させたとき、電源表示 LED [緑] がゆっくり点滅(待機)することを確認してください。

運転モードについて

本機は、使用空気量に応じ ON 圧力を変えることができる運転モード切替機能を搭載しています。
 運転モード切替ボタンを押すことにより、3つの運転モードを選択することができます。

操作方法

運転モード切替ボタンを1回押す毎に、
 運転モードが切り替わります。



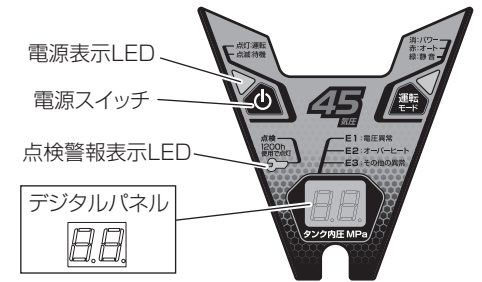
運転モード	LED表示	デジタルパネルの表示※	空気消費量	用途	運転制御圧力		回転速度
					OFF 圧力	ON 圧力	
パワーモード	消灯	P	大	ねじ打機 エアインパクト 50～90 mm 釘打機 一般圧釘打機 在来建築など	4.4 MPa	4.0 MPa 固定	最大 2,500 min ⁻¹
オートモード	[赤]点灯	A	大	ねじ打機 エアインパクト 90 mm 釘打機 など	4.4 MPa	3.9または 3.2 MPa 空気使用量に 応じて可変	最大 2,200 min ⁻¹
			中	50 mm 釘打機 一般圧釘打機 在来建築など			
静音モード	[緑]点灯	S	小 + 低騒音	内装作業 リフォーム 仕上げ釘打機など	3.0 MPa	2.5 MPa 固定	最大 1,500 min ⁻¹

※ デジタルパネルの表示は、切り替え後、約 0.5 秒間です。

警報機能について

本機は、電圧やモーターの異常時に自動的に運転を停止する機能と、これらの異常をデジタルパネルの表示または点検警報表示 LED の点灯でお知らせする警報機能を搭載しています。

モーターが運転を停止し、デジタルパネルに下表のようなエラーが表示されている場合、または点検警報表示 LED が点灯している場合は、下表により対応してください。



デジタルパネルのエラー表示	点検警報表示 LED	原因	対応
電圧異常 E1	—	電圧が低すぎる、または高すぎるため運転を停止	電源や延長コードの接続を改善 (P.13～14 参照) し、「電源スイッチ」を押してください。 デジタルパネルの [E1] 表示が消灯を確認したのち、再度「電源スイッチ」を押してください。
オーバーヒート E2	—	制御回路、モーターが過熱し、運転を停止	電源や延長コードの接続を改善 (P.13～14 参照) し、また機体を風通しの良い場所に設置し直し、十分冷めたことを (「デジタルパネルの [E2] 表示が消灯」) 確認したのち「電源スイッチ」を押してください。
その他の異常 E3	—	その他の異常	お買い求めの販売店に連絡してください。
—	[黄]点灯	本機の実働時間が 1,200 時間に達した	P.25「点検 (オーバーホール) 時期お知らせ機能について」を参照。

注 運転再開後、モーターの停止、デジタルパネルのエラー表示または点検警報表示 LED が点灯する場合、モーターの故障が考えられますのでお買い求めの販売店へ連絡してください。

停電自動復帰機能について

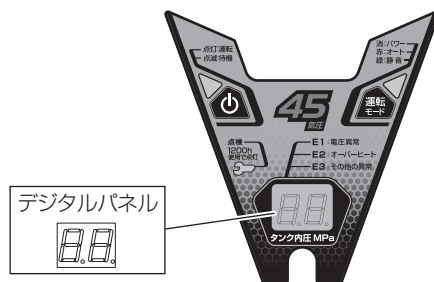
⚠ 警告

作業終了時には、本機（エアコンプレッサ）の電源スイッチをOFFにしてから、電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜いて運転を停止させると、次に電源プラグを接続させたとき、不意に運転が開始され、思わぬ事故やけがの原因になります。

突然の停電や不意に電源プラグが抜けるなどで、機体への通電が遮断された場合、通電が再開されると同時に、本機（エアコンプレッサ）の電源がONの状態に自動復帰します。

停電自動復帰機能動作の場合は、デジタルパネルが「88」表示後、1秒間隔で「05」→「04」→「03」→「02」→「01」→「00」と表示したのち、運転を再開します。



88→05→04→03→02→01→00

インバータ制御について

- 本機はインバータ制御により、回転数を変化させています。この回転数の変化により運転音が変わりますが、異常ではありません。
- ラジオなどに対して電波ノイズの影響を与える場合がありますので、状況に応じ本機より1m以上はなして使用してください。

運転する

一般建築作業における釘打機等エア工具への圧縮空気供給源として使用する。

⚠ 警告

- 一般圧用カプラ（EC 1245H3(CTN)/(CN)）には、別売の耐熱温度 60℃以上、最高使用空気圧力 0.98 MPa 以上、呼び径 6 mm 以上のホースを使用してください。高圧用カプラ（EC 1245H3(CTN)/(CN)）には、高圧専用エアプラグ・ホース以外は使用しないでください。
- 本機に接続するエアホースとホース金具は十分な耐圧があり、また確実に固定されていることを確認のうえ、使用してください。
- カプラにエアセット、ペアソケットなどの重量物を直接接続しないでください。
- 空気工具の最高使用圧力を確認し、それ以上の圧力には、減圧弁を設定しないでください。
- 連続運転となるような使用はしないでください。
- 運転中は、ショルダーベルトを機体からはずしてください。

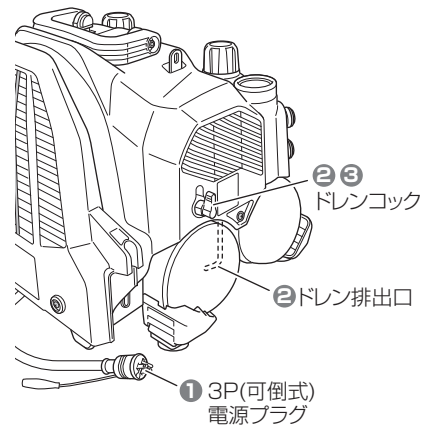
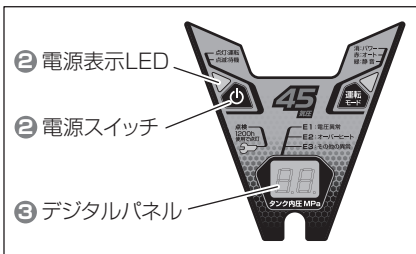
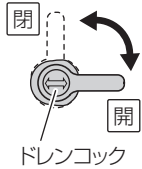
⚠ 注意

- 電源スイッチをOFFにして、次にONにするまで、10秒以上の間隔をとってください。短時間でON-OFF操作を繰り返すと起動不良を起こすことがあります。
- コンセントに接続し、通電させたとき、電源表示LED [緑] がゆっくり点滅することを確認してください。
- 電圧の低い状態および高い状態で使用されますと、性能低下さらに、故障の原因になり、製品寿命を短くしますので適正な電源で使用してください。
- 機体作動中にハンドルが動きますので、ハンドルを固定しないでください。故障の原因になります。

1 3P(可倒式)電源プラグをコンセントにさし込む

2 ドレンコックを全開にしてから、電源スイッチをONにする

- ドレン排出口から空気が出ることを確認してください。
- 電源表示LED[緑]が点灯します。

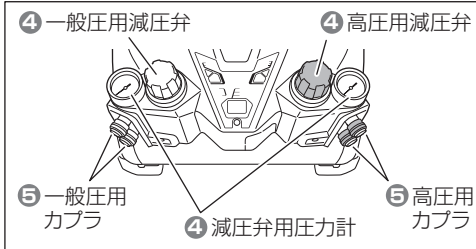


3 ドレンコックを全閉にする

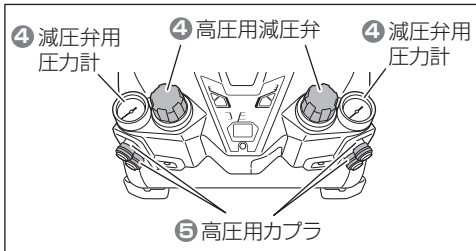
- 空気タンク内の圧力が上昇するのにもない、デジタルパネルの数値が上昇します。
- 空気タンク内の圧力が約 4.4 MPa になりますとデジタルパネルが「4.4」を表示し、運転が停止します。



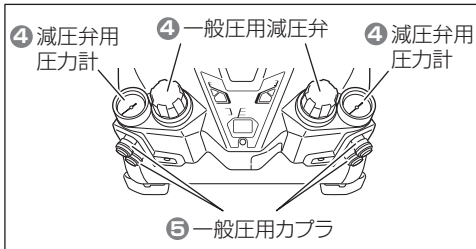
【EC 1245H3(CTN)】



【EC 1245H3(CS)】

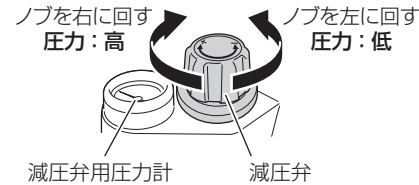


【EC 1245H3(CN)】



4 減圧弁で圧力を調整する

- ノブを右一杯に回し圧力を上げ、次にノブを左一杯に回し圧力を下げたのち、減圧弁用圧力計を確認しながら、必要な圧力に調整してください。
- 高い圧力から調整すると、使用中に調整圧力が下がる場合があります。



5 カプラにエアホースを接続し、作業を開始する

- 高圧用カプラ (EC 1245H3(CTN)/(CS)) には、高圧専用エアプラグ・ホースを使用してください。
- 減圧弁の調整圧力を下げたとき、接続ホースの空気は減圧弁から大気に逃がすようになっています。そのとき、シューという音が出ます。
- 取り出し空気中には、吸込み空気中の水分が結露してドレンとして混入します。取り出しホース途中において別売のフィルタなどを通すことをお勧めします。

- 注**
- 使用の空気量が多く、空気タンク内圧力が大きく下がるような場合、減圧弁の特性により調整圧力が約 0.2 MPa 程度上昇することがあります。
 - 減圧弁で設定できる最高取り出し圧力は、一般圧用で約 0.8 MPa、高圧用で約 2.5 MPa です。

寒冷地の場合

- 本機を保管する場合、空気タンク内のドレンを完全に抜いてから屋内に保管してください。
- ドレンの凍結による作動不良および空気量の減少、場合によっては損傷にいたることがありますので、本機自身を暖めてから運転させるような凍結防止の処理を行ってください。
- 低温での起動不良が発生した場合は、延長コードの使用を避け、ドレンコックを全開にして暖機運転をしばらく行ってから使用してください。

ご使用後について

⚠ 警告

● 運転を終了するときには、電源スイッチをOFFにして、電源表示LED[緑]がゆっくり点滅の状態になっているのを確認してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源表示LED[緑]が点灯している状態で、電源プラグをコンセントからはずすと、次に電源を接続した際に、不意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。

● 使用後や移動時には、電源スイッチをOFFにして、電源プラグを抜いてドレンコックを徐々に開き、空気タンク内のドレンと圧縮空気を抜いてください。

● ドレンおよび吐出空気には、大気中の水分および摩耗粉、さびなどが含まれます。顔に向けてドレンを排出しないでください。失明など、けがの原因になります。

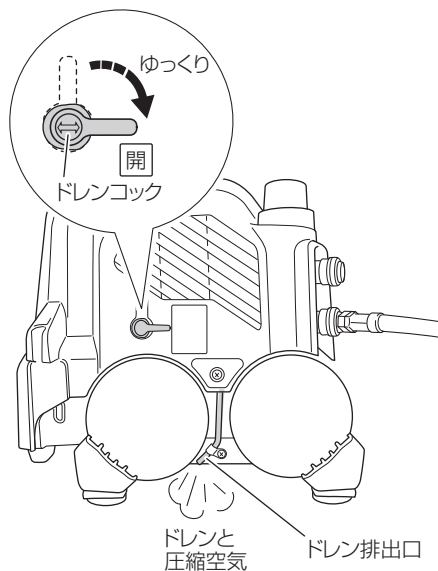
1 電源スイッチをOFFにしてから、電源プラグを持って抜いてください。

電源プラグの金属部には手を触れないでください。

電源スイッチがONの状態(電源表示LED[緑]:点灯)のまま、電源プラグの抜き差しは絶対に行わないでください。

2 ドレンコックを徐々に開き、空気タンク内のドレンと圧縮空気をすべて抜いてタンク内のさび付きを防いでください。

注 ドレンコックを急に開くと、地面、床等ではねかえったドレン、および空気が体にかかる場合があります。周囲に飛散する物がないことを確認し、徐々にドレンコックを開き、排出具合を調整してください。

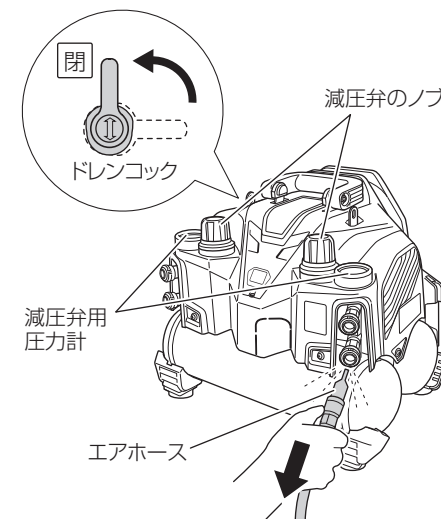


⚠ 警告

顔を近づけてエアホースを抜かないでください。

空気タンク内の空気が残っている場合、エアホースをはずすと、ドレンが噴出することがあります。

3 空気タンク内のドレンがすべて抜けていることを確認してから、ドレンコックを閉じて、エアホースをはずしてください。

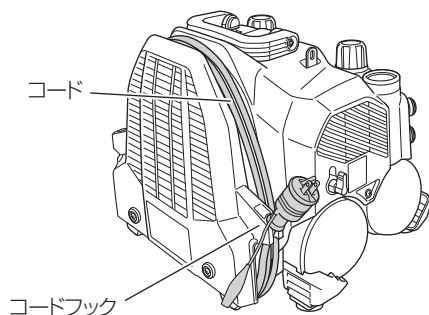


運搬について

警告

- 落としたり、ぶつけたりすると、空気タンクなどに変形や破損を生じ、運転中の圧力により、破損片が飛散し、事故の原因になります。
- ハンドルに変形や破損およびねじのゆるみがある場合、運搬中に落下して破損および事故の原因になります。
- 空気タンク、樹脂カバーなどに変形や破損がある場合は、そのまま使用せずにお買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- コードを引っ張らないでください。断線やショート、モーター故障の原因になります。

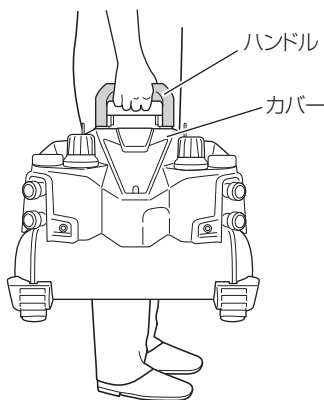
- 運搬はていねいに行ってください。特に衝撃（製品をぶつける、激しく揺さぶる等）には十分注意してください。
- 車での運搬時は、動かないようにしっかり固定してください。
- コードは、樹脂カバーのコードフックに取付けて運搬してください。



● ハンドルの使い方

運搬・移動する場合は、ハンドルを持ちます。

ハンドルを使用しない場合は、カバー奥側または手前側へハンドルを倒しておいてください。



● ショルダーベルトの使用について

本機は運搬に便利なショルダーベルトを付属しています。ショルダーベルトは次の事項を守り正しくご使用ください。

警告

- ショルダーベルトは付属品を使用してください。
- ショルダーベルトは肩掛け運搬専用です。肩掛け以外（クレーンつり、引きずり、壁掛け等）には使用しないでください。
- ショルダーベルトの金具、および本機のショルダーベルトフックに亀裂、破損、変形がある場合は使用しないでください。
- ショルダーベルトを肩にかけた状態で、運転しないでください。
- ショルダーベルトを肩からはずして置く場合は、衝撃を与えないでください。
- 運搬時以外は、ショルダーベルトを本機からはずしてください。足を引っ掛けて、けがをする恐れがあります。

注意

- ショルダーベルトを使用する際は、ハンドルをしっかりつかみながら運搬してください。
- ショルダーベルトで運搬する際は、乱暴に扱ったり、振り回したりしないでください。

保守・点検

高圧エアコンプレッサを調子良く長持ちさせるために、日常の手入れ、早めの点検（オーバーホール）が大切です。

以下の保守・点検を使用後、毎回行ってください。

- ドレンを抜く
- 制御機器の作動具合を確認（圧力計、減圧弁）
- 異常振動、異常音などの確認
- 樹脂カバー、ハンドル、フィルタカバーのねじのゆるみ確認
- エアフィルタの清掃

●エアフィルタの清掃について

本機には、機体下部にエアフィルタを内蔵しています。

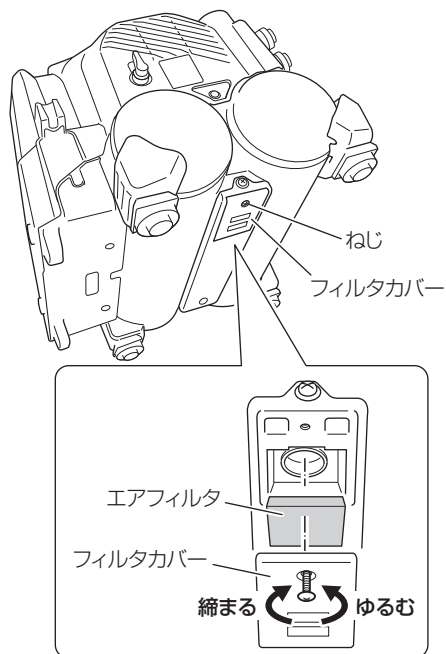
長く使用するために、1か月に1回程度、定期的な清掃をしてください。

エアフィルタの清掃の際には、フィルタカバーを留めているねじをゆるめ、フィルタカバーをはずします。

エアフィルタを取りだし、軽くはたいて粉じんやほこりを取り除き、取付け部周辺の汚れもきれいにしてください。

注 清掃後、確実にエアフィルタを挿入し、フィルタカバーを留めているねじをしっかりと締めてください。

エアフィルタが入っていないままフィルタカバーを締めたり、運転中にねじがゆるんで、フィルタカバーごとエアフィルタがはずれてしまうと、圧縮機内部にごみなどが侵入し、故障の原因になります。



●点検（オーバーホール）時期お知らせ機能について

本機には、実働1,200時間を経過しオーバーホール時期が近づいたことを、点検警報表示LEDの点灯によりお知らせする機能を搭載しています。

通電時にしたとき、点検警報表示LEDが黄色に点灯する場合には、お買い求めの販売店にオーバーホールを依頼してください。

●機体や付属品の保管

- 長期間（約1か月）使用しない場合は、保管前にドレンコックを全開にし、5分以上の運転を行い、さび付きなどによる不具合を防いでください。
- 水平な床面に、4本の足（ゴム足）が接して、ガタつきがないように保管してください。
- 寒冷地では、空気タンク内のドレンを完全に抜いてから屋内に保管してください。
- 下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
 - 軒先など雨が掛かる場所、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

●故障のときは

警告

- 修理はお買い求めの販売店に依頼してください。
- 樹脂カバーを開けたり、分解をしないでください。事故の原因になります。

次のような現象が発見された場合は、スイッチを切り、電源プラグを抜き使用をやめて直ちにお買い求めの販売店に修理を依頼してください。

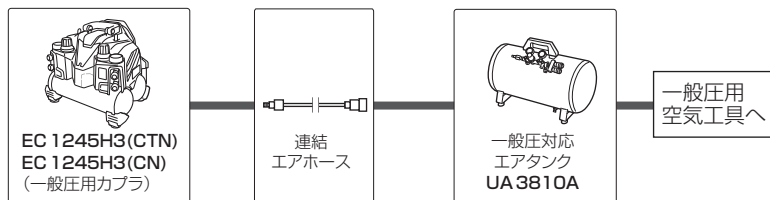
- 電源スイッチをONにしても運転しない。または、モーターが起動しない。
- 運転中に異常振動、異常音がする。
- 圧力が上昇しない。
- 圧縮空気を使用していないのに5分以内に再起動する。
- 空気タンクに変形や亀裂が生じた場合。
- デジタルパネルの表示がE3の場合。
- 圧力センサが作動せず、リリーフバルブが作動し、圧縮空気が吹き出す。

エアタンク（補助タンク）接続について

瞬時に多量の空気を消費する場合は、別売のエアタンクを使用してください。

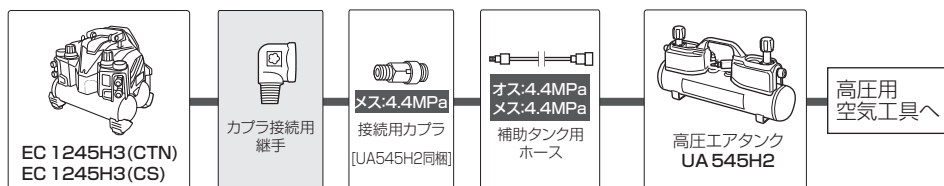
- 一般圧対応のエアタンク【UA 3810A】の接続：EC 1245H3(CTN)/ EC 1245H3(CN)
本機の一般圧用カプラと、エアタンク【UA 3810A】の空気取入口を別売の連結エアホースで接続してください。

- 注**
- EC 1245H3(CS) に、【UA 3810A】は接続できません。
 - 高圧用カプラへは接続しないでください。



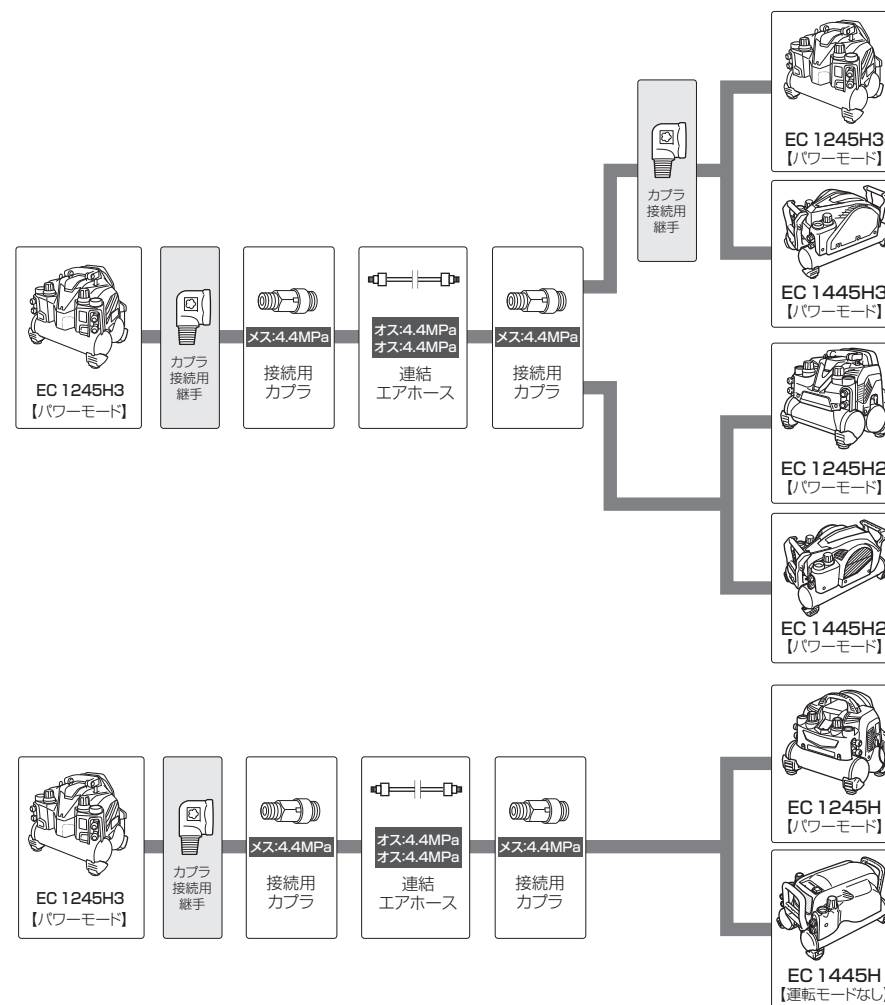
- 本機の高圧専用エアタンク接続口に、【UA 545H2】に同梱の接続用カプラ、別売の補助タンク用ホース、およびカプラ接続用継手を使用して、高圧エアタンク【UA 545H2】を接続できます。

- 注** 接続用カプラ、およびカプラ接続用継手の取付けは、お買い求めの販売店へ依頼してください。



エアコンプレッサとの接続について

- 注**
- EC 1245H3 を2台連結するときは、同じパワーモードに合わせてください。
 - 接続用カプラ、およびカプラ接続用継手の取付けは、お買い求めの販売店へ依頼してください。
 - 同一電源で2台接続しないでください。
 - ドレンは、両機体から排出してください。
 - 2台連結は、エアを一時的に大量消費する用途（ねじ打機やエアインパクトなど）以外は使用しないでください。
運転時間が片寄り、故障の原因になります。



メ モ

メ モ